

【様式 2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	三重県	
取組市町村名 取組団体・企業名	尾鷲市立尾鷲中学校	
取組の名称	水産加工実習「尾鷲市の鰹を食す」	
実施時期	12月	
取組内容に該当する食育ピクトグラム（複数選択可）		
取組内容	<p>目標：尾鷲市のスローガン「住みたいまち 住み続けたいまち おわせ」を実現させる。</p> <p>具体的取組：</p> <p>目標を達成するために地元でとれた「鰹」を使って出前授業や実習を行いました。</p> <p>出前授業では、尾鷲市水産農林課の方、地元の魚屋さんから、尾鷲市で行われている漁業の方法や、収穫された魚の栄養、この後食べる「鰹」について学びました。その際、生徒同士で尾鷲市の漁業について「知っていることは無いか」話し合い、学び合ったり、自主的にプリントにまとめたりといった主体的に取り組む様子を見ることができました。また、SDGsの観点でも魚について学び、様々な視点で地元「尾鷲市」について考えていきました。</p> <p>その後、出前授業で学んだことを活かし、「鰹の三枚おろし」の実習に取り組みました。実習は生徒だけでなく、事前に教職員も行いました。教職員も実習をすることで、学校全体で「尾鷲市」について考えるきっかけになるとともに、生徒が実習する際には、農林水産課の方だけでなく教職員も補助につくことで、円滑に実習を進めることができました。</p> <p>実習中、三枚おろしの難しさを体感する生徒や、「こうして、スーパーの魚はさばかれているのか。」と話す生徒もいるなど、普段「尾鷲市」で生活するありがたみを感じていました。その姿は、尾鷲市のスローガンである「住みたいまち 住み続けたいまち おわせ」に繋がるものでした。</p> <p>最後に、生徒自身でさばいた「鰹」を天ぷらに調理して食べました。ここでは、「自分で作ったから、いつもよりおいしい。」と話す生徒もいて、とても充実した様子でした。</p> <p>この取組を通して、生徒だけでなく学校全体で尾鷲市について学ぶことができました。</p>	

